



# 但馬水産技術センターだより



## 漁況情報 (G2230号)

令和4年8月26日

兵庫県立農林水産技術総合センター  
但馬水産技術センター 発行

### ハタハタ・アカガレイ・大型クラゲ等に関する情報について (令和4年度底びき漁期前調査結果)

令和4年8月9～10日に但馬沖水深180～350mで、同17～19日に大山沖～隠岐北方水深180～240mで、漁業調査船「たじま」によりトロール網試験操業を実施しました。(図1、表1)。結果の概要は以下の通りです。

#### 1. ハタハタ

- ・大山(青谷)沖水深215mで109kg/網の入網がありましたが、他は20kg/網未満の入網でした。(表1、図2)
- ・全エリアの水深240m以浅平均入網重量は10.2kg/網で、前年(15.9kg/網)および過去10年平均(48.9kg/網)を下回り、2005年以降で最も少ない結果となりました(図3)
- ・漁獲物サイズはやや大きめで体長16cmを中心に14～18cmに限定されていました。年齢組成は2歳魚が大半と見られ、水深240m以深では3歳魚(18cm前後)も混ざりますが、全般に1歳魚(14cm前後)の少なが目立ちました。(図4)また、オスの比率が高い傾向にありました。

#### 【秋漁の見通し】

- ・漁場は大山(青谷)沖を中心に、短期間形成されるでしょう。
- ・9～10月漁獲量は170トン程度が期待されますが、狙い操業が減ればさらに少なくなるでしょう。(図5)
- ・漁獲物は2歳魚(中型)主体で、1歳(小型)、3歳魚(大型)はわずかでしょう。

#### 2. アカガレイ

- ・但馬沖の水深300m前後でまとまった入網がありました。(表1、図6、図8)
- ・但馬沖～大山沖の平均入網重量は27.4kg/網で、前年(23.2kg/網)を上回り、過去10年平均(27.2kg/網)並みでした。(図7)
- ・前年比較的多く見られた体長15～25cmの中小型個体の入網は今年はずかでした。(図8)

#### 【秋漁の見通し】

- ・漁場は但馬沖の水深300m以深に形成されるでしょう。
- ・9～10月の漁獲量は前年(214トン)を上回る可能性があるでしょう。

#### 3. 大型クラゲ

- ・隠岐北方から隠岐東方にかけて入網がありましたが、隠岐北方の水深240mで70kg(7個体)入網した以外では入網量は1～2個体とわずかでした。(表1、図9)傘径は30～70cmでした。

【今後の見通し】大型クラゲの出現は現時点で多くありませんが、隠岐北方で操業される際は念のためご注意ください。情報収集には以下のHPをご活用ください。①JAFIC;<https://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>、②水産研究・教育機構 水産資源研究所(旧日本海区水産研究所);[http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/Kurage/kurage\\_top.html](http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/Kurage/kurage_top.html)、③但馬水産技術センターだより(クラゲ情報; URLは下記)

#### 4. その他の情報

- ・調査期間中、隠岐東方から但馬沖沿岸にかけて水深210m以浅の海底水温が非常に高い(7℃以上)状況がみられました。(表1)隠岐東方の暖水域の影響が考えられます。(図10)
- ・ズワイガニ(未成体・アカコ・クロコ等)が多く分布する海域があり、これらの混獲回避が極めて重要です。操業を控えたり、混獲回避漁具や吊り岩等を有効活用し、ズワイガニを1匹でも多く残しましょう。
- ・今期はホッコクアカエビに漁獲努力が集中する可能性があります。稚エビが多く入網するエリアは避けるなど、貴重な資源を少しでも長く利用できるよう努めましょう。

お問い合わせ先：兵庫県但馬水産技術センター(担当：大谷・田村)

TEL：0796-36-0395 FAX：0796-36-3684

email：nourinc\_tajima@pref.hyogo.lg.jp

ホームページ：https://www.hyogo-suigi.jp/tajima/index.htm

# 令和4年度底びき漁期前調査結果 資料

## 1)調査の目的

底びき解禁前のハタハタ、アカガレイ、大型クラゲ等の分布、体長組成等に関し、情報の収集と提供を行う。

## 2)調査日時

令和4年8月9～10日(但馬沖)

令和4年8月17～19日(大山沖～隠岐北方)

## 3)調査海域

但馬沖:水深 180～350m海域

大山沖～隠岐北方:水深 180～240m海域(図1参照)

## 4)使用船舶

兵庫県 漁業調査船「たじま」(199トン)

## 5)調査内容

### ①トロール試験操業

図1に示した計18点において、底びき試験操業を実施。

使用漁具:着底トロール網、袋網16節、平均袖先間隔28.5m、網口高さ約3m、曳網方法:3knot、30分(約1.5マイル)曳き。

### ②海洋観測

定点におけるASTDによる海底までの水温、塩分観測と、網に取り付けたセンサーによる海底水温の計測を実施。

### ③魚探反応の収録

トロール曳網時の魚探反応を収録。

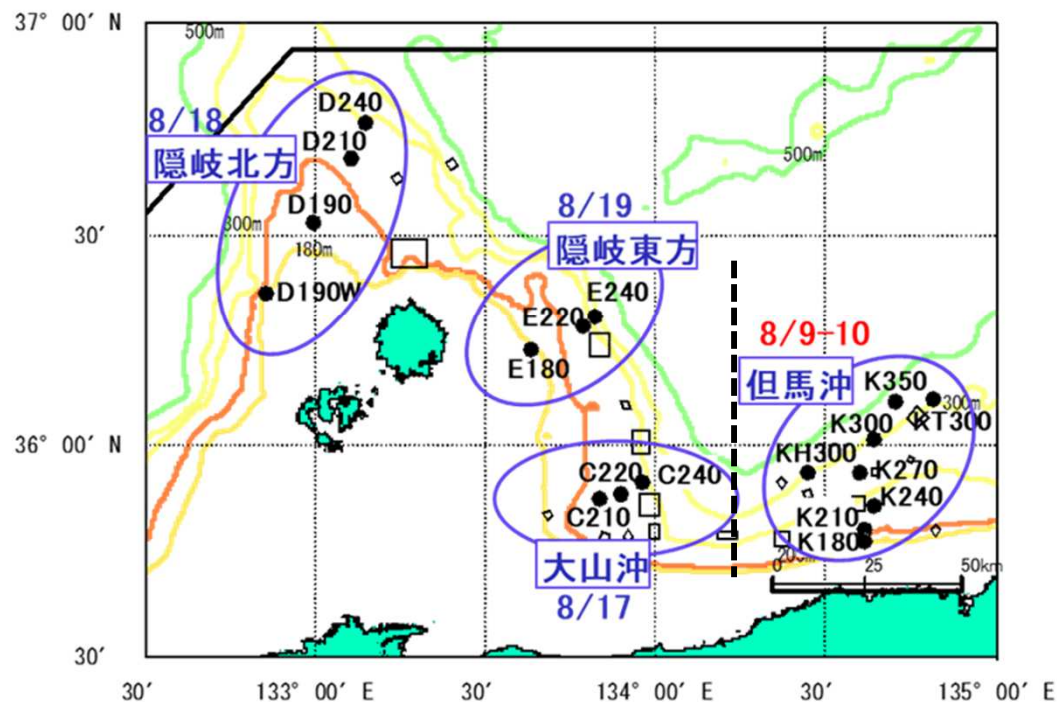


図1 調査海域図

表1 定点別魚種別入網状況(2022年)

月日	曳網開始時刻	エリア	操業点番号	平均曳網水深	海区番号	表面水温(°C)	海底平均水温(°C)	魚種別入網重量(kg)							
								ハタハタ	アカガレイ(マガレイ)	ソウハチ(イテ)	ヒレグロ(ヤマ)	ハイ類	エビ類	スルメイカ	大型クラゲ
8/10	7:18	但馬沖	K350	348	8086	27.9	0.8	0.5	14.9	0.0	0.0	2.4	11.7	0.0	0.0
8/9	18:18		KH300	302	8191	27.9	1.8	0.0	58.9	0.6	1.0	0.0	8.6	0.2	0.0
8/10	8:58		KT300	309	8086	28.2	1.1	1.5	197.7	0.0	1.1	0.8	3.5	0.0	0.0
"	5:32		K300	303	8089	28.0	1.2	0.1	97.4	0.0	0.4	2.6	4.0	0.0	0.0
8/9	16:00		K270	271	8097	28.4	2.7	0.3	38.6	0.0	3.2	1.1	2.1	1.7	0.0
"	13:59		K240	234	"	29.1	2.9	6.4	20.5	0.0	7.6	41.2	1.5	29.6	0.0
"	12:11		K210	208	8098	29.5	4.0	3.1	2.0	0.1	0.0	9.3	0.1	18.4	0.0
"	10:32		K180	183	"	28.8	9.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
8/17	13:02	大山沖	C240	237	8291	27.9	1.3	10.1	0.0	0.5	0.3	14.7	0.3	9.9	0.0
"	16:39		C220	215	"	27.7	2.8	108.6	0.0	4.0	0.9	30.2	1.0	19.4	0.0
"	14:54		C210	203	"	27.9	8.9	0.3	0.1	2.7	0.5	0.0	1.1	42.8	0.0
8/19	10:16	隠岐東方	E240	243	8285	27.3	3.1	0.3	0.7	0.0	0.9	2.1	0.2	3.1	0.0
"	8:42		E220	221	"	27.2	6.3	19.7	1.7	0.5	1.2	7.1	0.2	10.2	7.2
"	6:29		E180	184	8288	27.2	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	3.3	0.0
8/18	13:18	隠岐北方	D240	234	8378	26.8	1.2	6.8	9.5	0.4	31.1	0.0	0.0	1.5	70.0
"	11:02		D210	207	"	26.3	1.8	19.2	2.7	0.0	8.2	0.0	0.0	7.5	13.6
"	8:58		D190	188	8473	25.7	3.8	0.2	1.1	2.0	5.8	0.0	0.0	2.1	2.5
"	6:33		D190W	184	8481	26.3	4.3	11.7	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	76.0	14.3

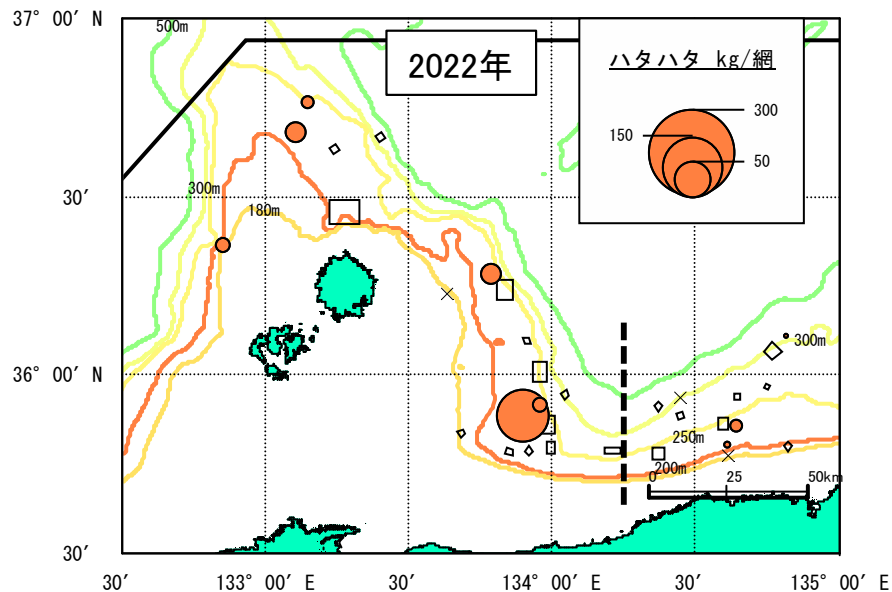
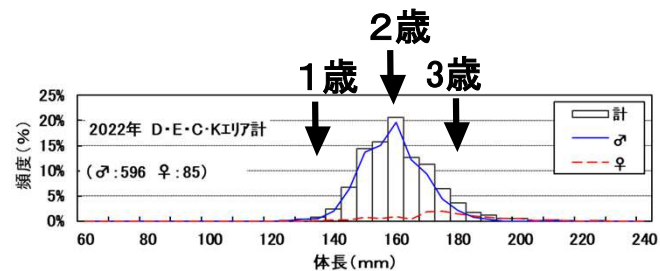
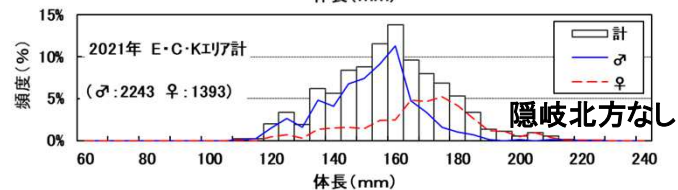


図2 ハタハタ入網重量の分布(kg/網)

2022年



2021年



2020年

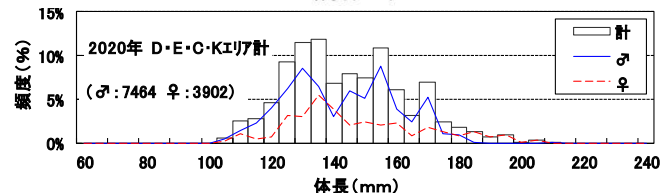


図4 近年のハタハタ体長組成 (隠岐北方～但馬沖)

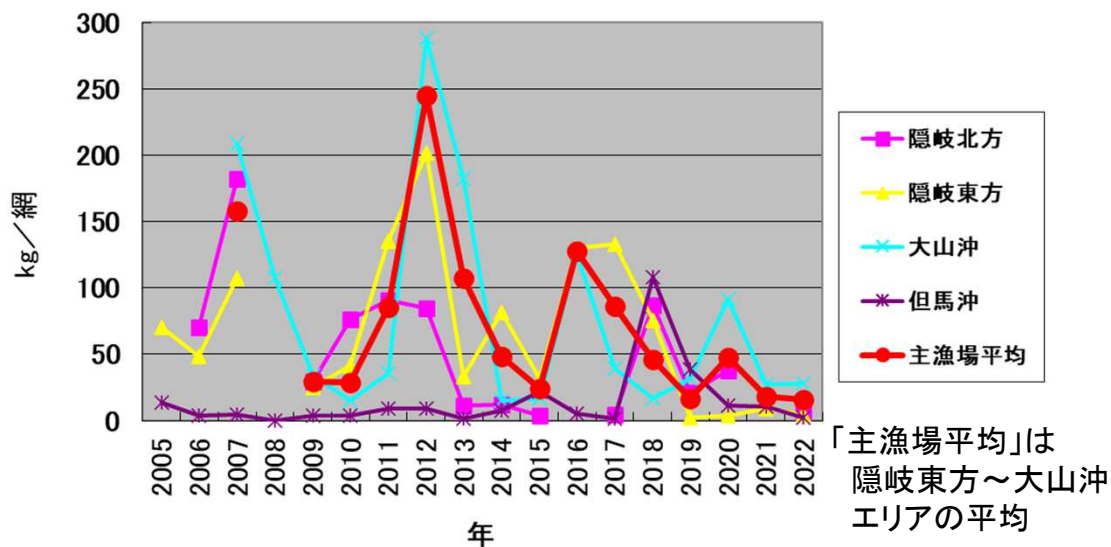


図3 エリア別 1 曳網当たりハタハタ入網重量 (180-240m定点、袖先間隔で補正)

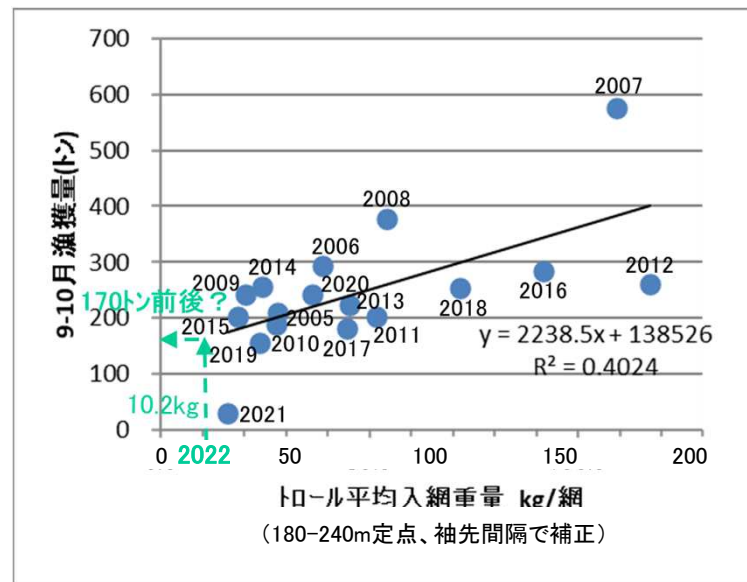


図5 調査1 曳網あたり入網重量と 9～10月のハタハタ漁獲量の関係 「平均入網重量」はデータのある全エリア平均

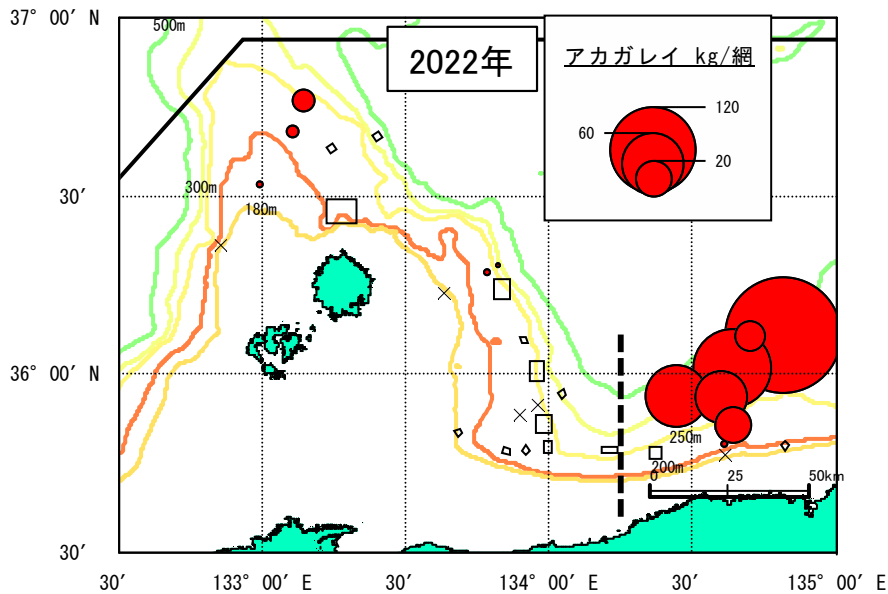


図6 アカガレイ入網重量の分布 (kg/網)

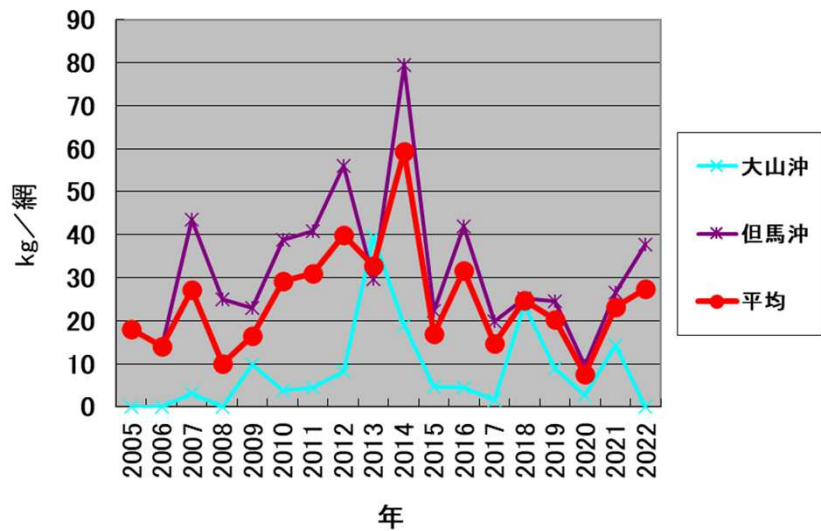


図7 エリア別 1 曳網当たりアカガレイ入網重量

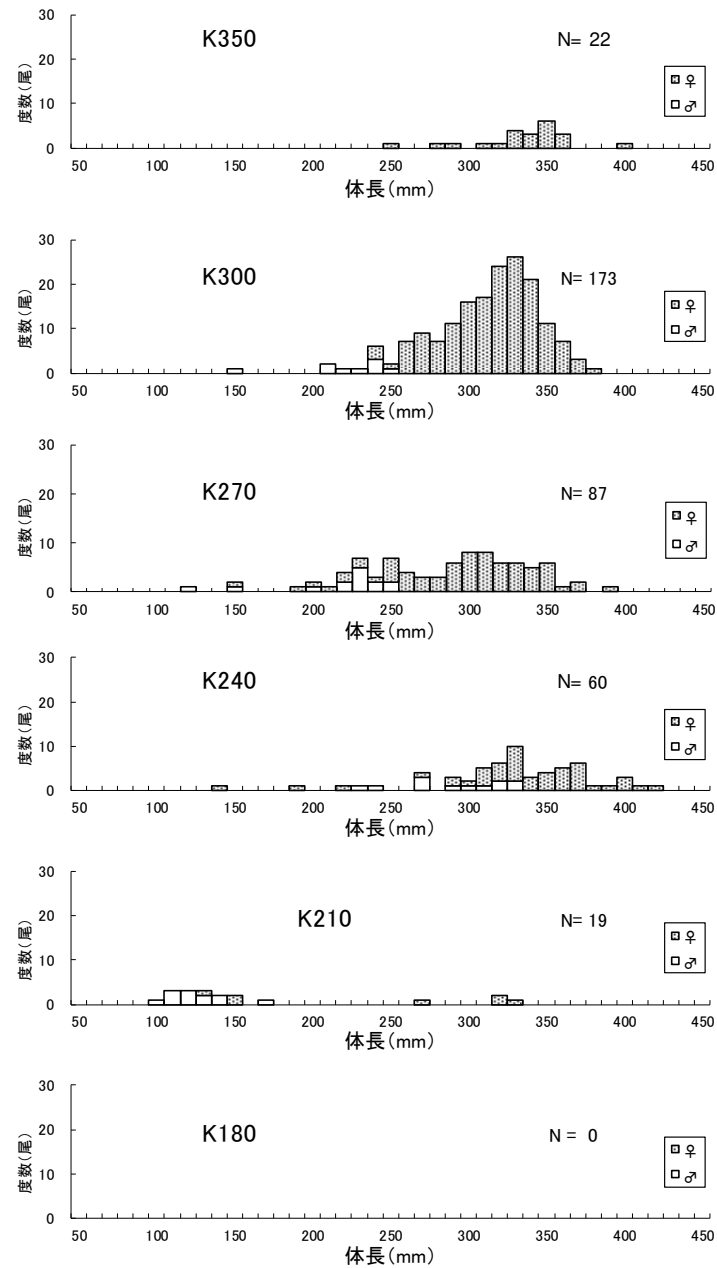


図8 定點別アカガレイ体長組成(香住沖)

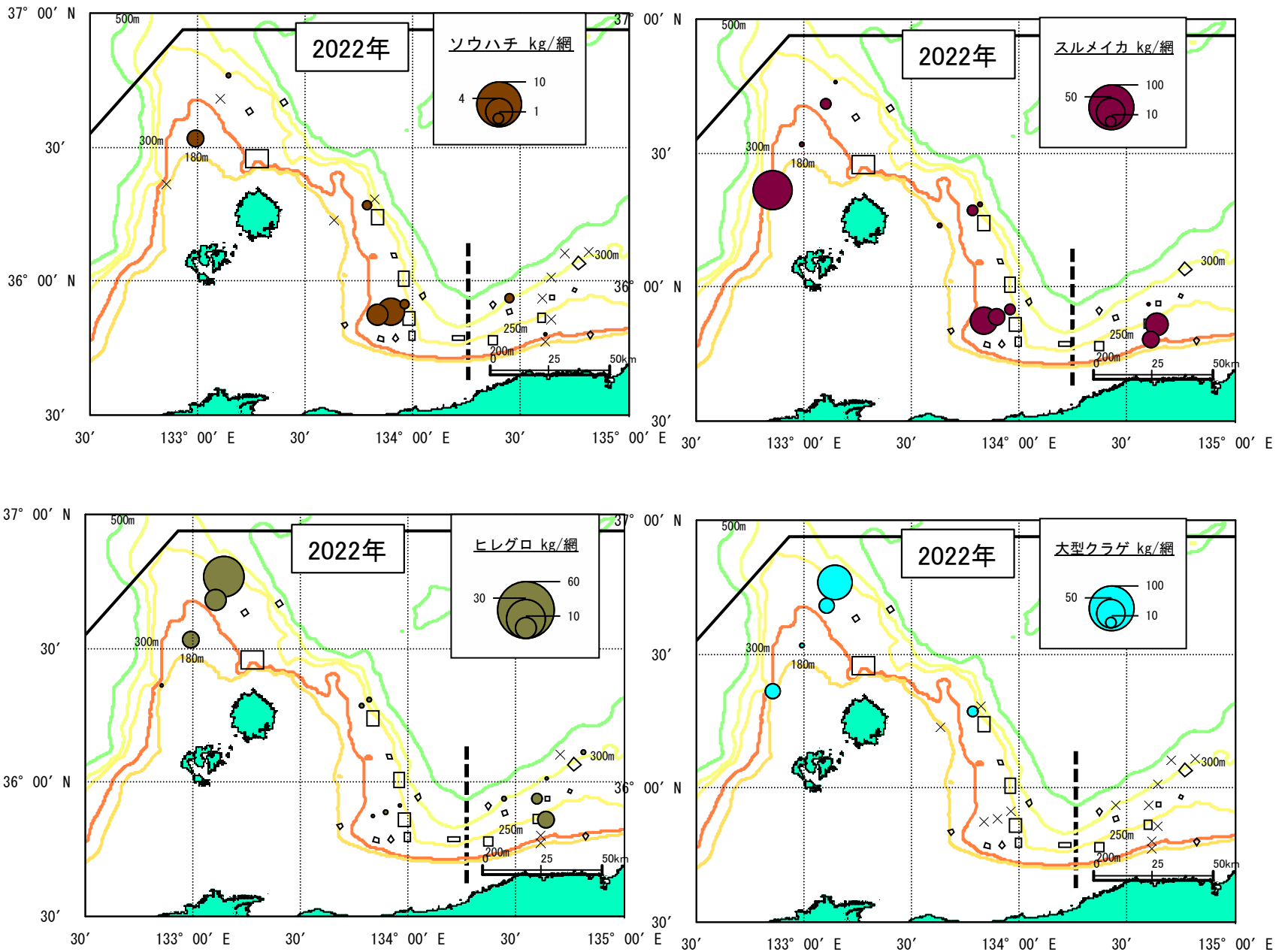
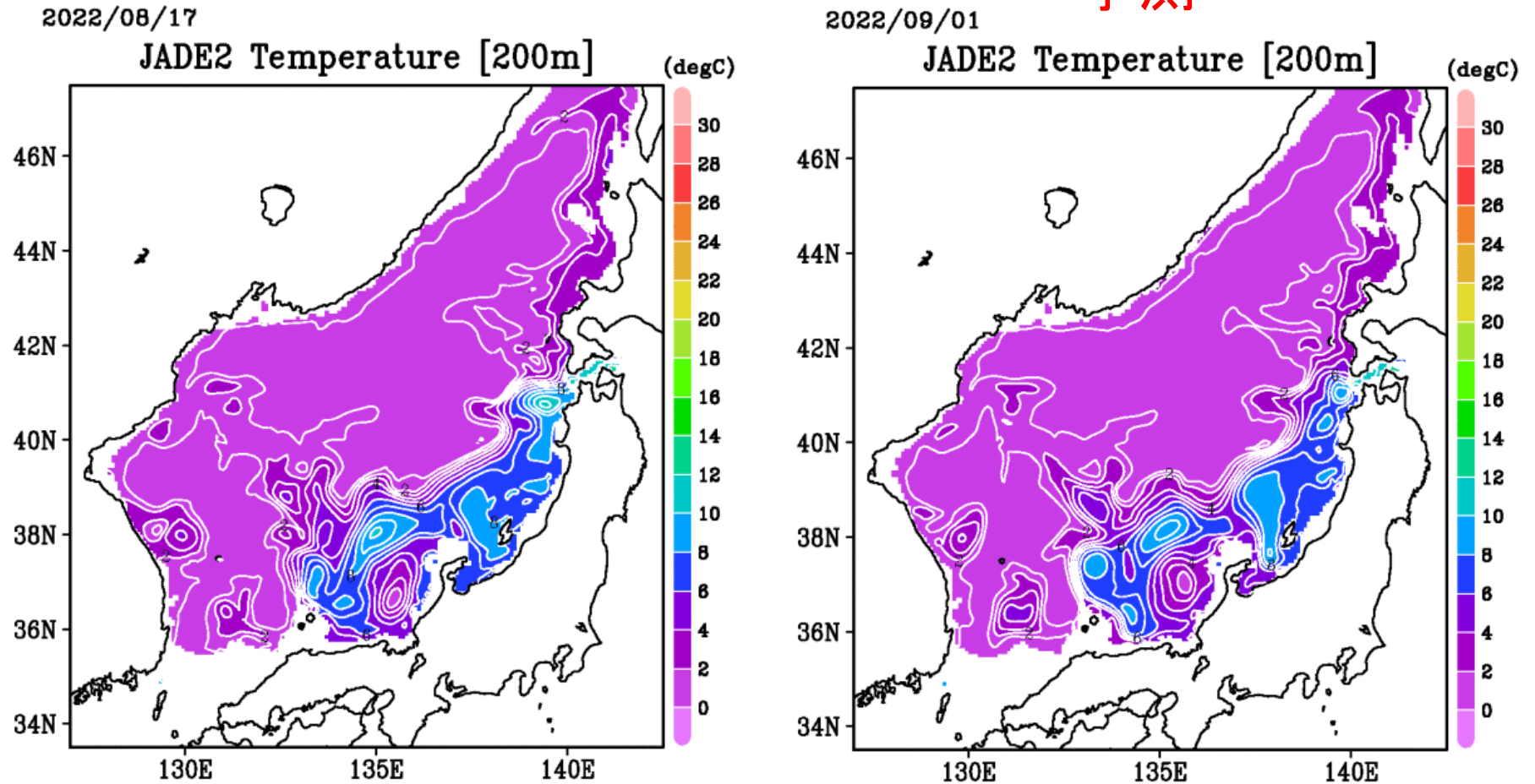


図9 その他主要魚種等の入網重量の分布(kg/網)

予測



青い部分が周囲より水温が高い水域

図10 水深200m層の水温分布

引用:JADE2 日本海の海況予想図(拡張版)  
<https://jade2.fra.go.jp/jade2/> より